

平成 27 酒造年度南部杜氏自醸清酒鑑評会における本県の結果

全国最大規模の清酒製造における杜氏集団「南部杜氏」による平成 27 酒造年度の自醸清酒鑑評会（平成 28 年 4 月 5 日（火）～4 月 8 日（金）開催）の結果が公表されました。

本鑑評会は、南部杜氏の清酒製造技術の研鑽と資質向上が目的であり、吟醸酒、純米吟醸酒、純米酒の 3 部門で開催されています。メインの部となる吟醸酒の部では毎年、成績の優れた上位 15 場は上位入賞酒として特別に表彰され、南部杜氏協会に所属する杜氏にとっては、毎年広島で開催される全国新酒鑑評会の金賞とならび、大変名誉ある賞となっています。

その名誉ある賞において、このたび上位 15 場の内、5 場を茨城県が占めることが出来ました。2 位は宮城県と千葉県でしたが、それぞれ 2 場となりました。

当県では平成 9 年度より清酒醸造に関する人材育成事業、平成 25 年度より清酒製造研究会等をはじめとした支援を続けてきました。この鑑評会の結果から各企業の努力と、これら支援の成果が徐々に出つつあると思われまます。

近年の茨城県の清酒品質レベルは確実に向上しており、広島県で開催される全国新酒鑑評会でも例年金賞受賞率では上位を占めるようになってきています。今後もますます品質向上を続ける茨城県の清酒にご期待下さい！

平成 27 酒造年度 第 97 回南部杜氏自醸清酒鑑評会 上位入賞酒一覧

(吟醸酒の部)

順位	都道府県	商標名	製造場名	杜氏氏名
1	福井県	一本義	(株)一本義久保本店	藤原 悟
2	福島県	会津吉の川	(資)吉の川酒造店	川村 利見
3	栃木県	旭興	渡邊酒造(株)	渡邊 英憲
4	茨城県	御慶事	青木酒造(株)	箭内 和広
5	茨城県	副将軍	明利酒類(株)	菅原 敬夫
6	千葉県	東薫	東薫酒造(株)	熊谷 茂夫
7	宮城県	日高見	(株)平孝酒造	小鹿 泰弘
8	茨城県	久慈の山	根本酒造(株)	菊池 道郎
9	京都府	月桂冠	月桂冠(株)昭和蔵	小田 瞬司
10	青森県	如空	八戸酒類(株)五戸工場	上井 裕文
11	茨城県	愛友	愛友酒造(株)	多田 一郎
12	茨城県	一品	吉久保酒造(株)	鈴木 忠幸
13	宮城県	浦霞	(株)佐浦 矢本蔵	赤間 勲
14	千葉県	東魁盛	小泉酒造(資)	小泉 平蔵
15	岩手県	あさ開	(株)あさ開	藤尾 正彦

なお詳細な結果は以下の URL をご覧下さい

<http://www.kanko-hanamaki.ne.jp/member/upload/nanbu20160419.pdf>

(参考) 茨城県の清酒製造技術向上に関する取り組み

①清酒製造技術研究会

平成 25 年度より実施。

清酒製造実習，先進地視察や参加者による意見交換会などを開催し技術の共有化，普遍化に大きく寄与している研究会。

②生産技術者育成事業（清酒製造研修）

平成 9 年度より実施しており **修了者**は約 100 人（重複含む）。

経営者子息，地元従業員等による主に清酒醸造に関する基本部分の現地醸造研修を主体として基本技術の習得と共に県内酒造関係者のネットワーク形成に寄与している。

③県内清酒の分析，研究事業

鑑評会等への出品する清酒の醸造データを詳細に分析，次年度以降の造りに繋げてもらう。分析内容は各種研究会で報告し。マニュアル，印刷等して全蔵元に配布。全蔵元のデータや成績も明らかにしていることでモチベーションアップに繋げている。

④茨城県酒造組合技術部会の事業運営支援，講師派遣事業

茨城県酒造組合が平成 25 年度より実施。工業技術センターは内容立案，講師派遣等で支援。分析等の支援も行う。鑑評会出品酒の直前検討会や技術者の官能評価研修，市販酒官能勉強会等を行い，製造技術だけでなく全国レベルの清酒の品質に対する味覚認識（利き酒訓練）についての研鑽を行う。

⑤酒造期における現場技術支援

各蔵元に酒造期に訪問し現場において技術支援を行う。年平均 15 蔵程度の巡回支援を行っている。

⑥新酒持ちより研究会，呑みきり研究会への講師派遣

酒造組合から依頼により，3 月時の新酒，8 月時の貯蔵酒に関する官能評価を行い製造，貯蔵における注意点等を口頭指導。